



2024年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月14日

上場会社名 ポールトゥウィンホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3657 URL <https://www.phd.inc>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 鉄平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

四半期報告書提出予定日 2023年9月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第2四半期の連結業績(2023年2月1日～2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第2四半期	22,340	13.6	491	63.6	422	74.5	354	
2023年1月期第2四半期	19,661	27.0	1,351	10.7	1,653	6.8	161	82.2

(注) 包括利益 2024年1月期第2四半期 170百万円 (69.4%) 2023年1月期第2四半期 558百万円 (52.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第2四半期	9.64	
2023年1月期第2四半期	4.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第2四半期	26,471	15,456	58.4
2023年1月期	27,459	17,693	64.4

(参考) 自己資本 2024年1月期第2四半期 15,447百万円 2023年1月期 17,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期		0.00		15.00	15.00
2024年1月期		0.00			
2024年1月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年2月1日～2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,113	18.0	1,744	36.0	1,776	33.9	440	44.7	12.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年1月期2Q	38,156,000 株	2023年1月期	38,156,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年1月期2Q	2,795,730 株	2023年1月期	829,830 株
------------	-------------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年1月期2Q	36,770,968 株	2023年1月期2Q	37,611,183 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社は、決算に関する説明(動画)及び説明資料について、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するも、各種政策の効果もあつて、緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、金融資本市場の変動の影響に十分注意する必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループにおいては、顧客のサービスやプロダクトのライフサイクルの企画、開発、リリース、運用、改善の工程（サービス・ライフサイクル）において、品質コンサルティング、ゲームデバッグ、ソフトウェア第三者検証、環境構築・移行サポート、モニタリング、カスタマーサポート、不正対策、BPRサポート等を提供するサービス・ライフサイクルソリューション事業をグローバルで推進しております。当第2四半期連結累計期間においては、ポールトゥウィン株式会社では、顧客ニーズへの対応力向上、従業員の働く環境整備のため、3月に東京都内6センターを集約して秋葉原センターを開設し、株式会社MIRAIt Service Design及び株式会社Ninjastarsも同センターへ入居いたしました。5月にメタバース関連サービスを提供する子会社として、株式会社ADOORを設立いたしました。PTWジャパン株式会社では、顧客へのサービス力向上、経営資源の集約と効率化のため、7月に株式会社デルファイサウンドを吸収合併いたしました。株式会社CREST、株式会社SANETTY Produce及び株式会社キュービストは、メディア・コンテンツ業務のシナジー向上、経営資源集約のため、2月に株式会社CRESTを存続会社として吸収合併し、株式会社HIKEへ商号変更いたしました。各子会社において、積極的な人材採用・育成、事業拠点の新設・拡大を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,340,757千円（前年同期比13.6%増）、営業利益は491,934千円（同63.6%減）、経常利益は422,425千円（同74.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は△354,615千円（前年同期は161,777千円の利益）となりました。

業務の種類ごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 国内ソリューション

当業務では、国内子会社において、ゲーム市場向けには、デバッグ、カスタマーサポート、ローカライズ、海外進出支援に関するサービス提供を行っております。Tech市場向けには、ソフトウェア第三者検証、環境構築、サーバー監視、データセンター運営、キittingに関するサービス提供を行っております。Eコマース市場向けには、モニタリング、カスタマーサポートに関するサービス提供を行っております。Eコマース市場向けサービスでは、主にデータアノテーション（タグ付け）やQRコード決済に関する業務が拡大し、ゲーム市場向けサービスでは、一部顧客の開発スケジュールの影響による受注減少がありました。また、人材定着のためのスタッフの正社員化・雇用化、受注拡大に備えたTech分野人材先行採用、センター統合整備、ITシステム刷新を進めております。この結果、国内ソリューションの売上高は12,739,708千円（前年同期比0.7%増）となりました。

② 海外ソリューション

当業務では、在外子会社において、デバッグ、ローカライズ、音声収録、カスタマーサポート、製品開発サポート、グラフィック開発に関するサービスを行っております。主に一部顧客の音声収録の売上が減少いたしました。円安により売上が増加いたしました。また、事業拡大のための幹部人材、営業人材、開発人材の採用、さまざまな地域でスタッフを確保するために現地法人設立を推進しております。この結果、海外ソリューションの売上高は6,350,047千円（前年同期比11.3%増）となりました。

③ メディア・コンテンツ

当業務では、主に国内子会社において、「IP360° 展開」を主軸にアニメ制作、ゲームパブリッシング、グラフィック開発、マーケティング支援、バリアフリー字幕・音声ガイド制作に関するサービスを行っております。当第1四半期連結累計期間より、株式会社アクアプラスの業績が連結され、アプリゲーム「うたわれるもの ロストフラグ」等の売上が寄与しております。ゲーム開発については、他社との共同開発にも取り組んでおり、出資した制作委員会からのレベニューシェアがありました。また、株式会社HIKEでは、アニメ制作の受注を推進するとともに、制作能力拡大のためのスタジオ開設、人材採用・育成投資を進めております。この結果、メディア・コンテンツの売上高は3,251,001千円（前年同期比148.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,552,232千円(7.7%)減少し、18,692,107千円となりました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産が507,136千円、仕掛品が297,995千円、その他(前払費用等)が280,847千円増加したものの、現金及び預金が2,644,980千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて564,428千円(7.8%)増加し、7,779,805千円となりました。これは、主にのれんが484,564千円減少し、貸倒引当金が193,862千円増加したものの、建物及び構築物が145,888千円、工具、器具及び備品が211,655千円、ソフトウェアが395,250千円、投資有価証券が107,763千円、敷金及び保証金が199,166千円、その他(長期未収入金等)が168,716千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて987,804千円(3.6%)減少し、26,471,912千円となりました。

② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,279,278千円(14.8%)増加し、9,943,454千円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が206,238千円、未払金が110,261千円減少したものの、短期借入金が1,000,000千円、未払法人税等が239,032千円、未払費用が118,987千円、その他(前受金等)が217,348千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて30,207千円(2.7%)減少し、1,072,183千円となりました。これは、主に繰延税金負債が29,574千円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,249,071千円(12.8%)増加し、11,015,637千円となりました。

③ 純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,236,875千円(12.6%)減少し、15,456,274千円となりました。これは、主に為替換算調整勘定が541,400千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払い等により利益剰余金が914,508千円減少し、自己株式が1,849,010千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、主に海外ソリューションにおいて一部顧客からの受注減少、物価上昇・人件費増加があり、売上高、利益が計画を下回りました。また、本日(2023年9月14日)公表の「特別損失の計上、第2四半期(累計)連結業績予想値と実績との差異、及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期連結業績予想について修正しております。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,192,774	8,547,793
受取手形、売掛金及び契約資産	6,349,366	6,856,503
商品及び製品	6,512	21,282
仕掛品	491,287	789,282
その他	2,217,903	2,498,750
貸倒引当金	△13,503	△21,504
流動資産合計	20,244,340	18,692,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,582,031	1,756,820
減価償却累計額	△751,146	△780,047
建物及び構築物（純額）	830,884	976,773
機械装置及び運搬具	46,395	44,138
減価償却累計額	△26,378	△26,622
機械装置及び運搬具（純額）	20,017	17,515
工具、器具及び備品	2,538,126	3,021,844
減価償却累計額	△1,934,342	△2,206,404
工具、器具及び備品（純額）	603,784	815,440
その他	92,830	118,829
有形固定資産合計	1,547,517	1,928,557
無形固定資産		
のれん	1,462,357	977,792
ソフトウェア	572,552	967,803
無形資産	833,000	784,000
その他	3,997	3,997
無形固定資産合計	2,871,908	2,733,594
投資その他の資産		
投資有価証券	1,053,327	1,161,090
敷金及び保証金	1,025,012	1,224,178
繰延税金資産	418,638	458,557
その他	373,689	542,405
貸倒引当金	△74,717	△268,579
投資その他の資産合計	2,795,950	3,117,652
固定資産合計	7,215,376	7,779,805
資産合計	27,459,716	26,471,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	3,005,970	4,005,970
1年内返済予定の長期借入金	390,688	184,450
未払金	3,241,322	3,131,060
未払費用	508,693	627,680
未払法人税等	408,218	647,251
賞与引当金	31,019	51,428
その他	1,078,264	1,295,613
流動負債合計	8,664,176	9,943,454
固定負債		
長期借入金	475,453	457,665
退職給付に係る負債	136,291	142,092
繰延税金負債	329,159	299,584
その他	161,486	172,840
固定負債合計	1,102,390	1,072,183
負債合計	9,766,566	11,015,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,064	1,239,064
資本剰余金	2,380,082	2,381,156
利益剰余金	14,409,137	13,494,629
自己株式	△703,249	△2,552,259
株主資本合計	17,325,035	14,562,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,777	△11,310
為替換算調整勘定	354,866	896,267
その他の包括利益累計額合計	358,643	884,957
非支配株主持分	9,470	8,727
純資産合計	17,693,150	15,456,274
負債純資産合計	27,459,716	26,471,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
売上高	19,661,367	22,340,757
売上原価	14,265,970	16,833,875
売上総利益	5,395,396	5,506,882
販売費及び一般管理費	4,044,357	5,014,947
営業利益	1,351,038	491,934
営業外収益		
為替差益	254,768	77,129
助成金収入	74,958	42,144
その他	17,506	18,957
営業外収益合計	347,234	138,230
営業外費用		
支払利息	882	6,229
投資有価証券運用損	1,129	5,166
持分法による投資損失	30,992	—
貸倒引当金繰入額	—	188,390
自己株式取得費用	3,663	4,955
その他	7,739	2,998
営業外費用合計	44,406	207,740
経常利益	1,653,866	422,425
特別利益		
投資有価証券売却益	—	27,429
特別利益合計	—	27,429
特別損失		
固定資産除却損	12,705	2,713
減損損失	627,873	316,677
特別損失合計	640,578	319,391
税金等調整前四半期純利益	1,013,287	130,463
法人税等	848,983	485,822
四半期純利益又は四半期純損失(△)	164,304	△355,359
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,527	△743
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	161,777	△354,615

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	164,304	△355,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,474	△15,087
為替換算調整勘定	373,268	541,400
持分法適用会社に対する持分相当額	11,036	—
その他の包括利益合計	393,780	526,313
四半期包括利益	558,084	170,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	556,015	171,697
非支配株主に係る四半期包括利益	2,068	△743

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,013,287	130,463
減価償却費	333,526	374,245
減損損失	627,873	316,677
のれん償却額	248,665	167,886
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△60,417	201,863
賞与引当金の増減額(△は減少)	56,776	20,312
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,039	5,800
受取利息及び受取配当金	△2,644	△2,065
助成金収入	△74,958	△42,144
持分法による投資損益(△は益)	30,992	—
支払利息	882	6,229
為替差損益(△は益)	△172,261	△71,441
固定資産除却損	12,705	2,713
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△27,429
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△792,183	3,404
未収入金の増減額(△は増加)	52,771	△162,543
未払金の増減額(△は減少)	390,295	△456,830
未払費用の増減額(△は減少)	△12,088	89,318
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,366	△108,934
預り金の増減額(△は減少)	155,606	16,008
その他	62,089	△109,823
小計	1,864,591	353,711
利息及び配当金の受取額	5,130	13,042
助成金の受取額	74,958	42,144
利息の支払額	△4,985	△12,303
法人税等の支払額	△959,521	△218,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	980,172	177,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△340,243	△713,894
無形固定資産の取得による支出	△113,887	△384,707
投資有価証券の取得による支出	△172,175	△154,674
投資有価証券の売却による収入	—	63,299
事業譲受による支出	△129,167	—
貸付けによる支出	△7,856	△13,058
貸付金の回収による収入	9,968	2,504
敷金及び保証金の差入による支出	△202,579	△299,425
敷金及び保証金の回収による収入	71,706	132,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△884,233	△1,367,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△18,733	△224,026
配当金の支払額	△528,576	△559,892
自己株式の取得による支出	△274,619	△1,863,617
財務活動によるキャッシュ・フロー	△821,929	△1,647,535
現金及び現金同等物に係る換算差額	458,193	191,975
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△267,796	△2,644,980
現金及び現金同等物の期首残高	9,735,217	11,192,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,467,420	8,547,793

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月9日開催の取締役会決議及び2023年6月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,981,900株の取得を行いました。また、当社は、2023年5月23日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式16,000株の処分を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式1,849,010千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,552,259千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「サービス・ライフサイクルソリューション事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。